



日産合成工業株式会社 メールマガジン  
2015・05・07 第101号



サクラ前線が北海道に到着しました。皆様は今年はどのような花見をされたでしょうか。

花見といえば桜ですが、現在日本の桜の8割はソメイヨシノと言われています。ソメイヨシノは日本原産種のエドヒガン系の桜とオオシマザクラを交配して江戸時代中期に江戸近郊の染井村の植木職人たちによって作出された園芸品種です。ソメイヨシノは種子では増えませんので、接ぎ木で増やします。従って全てがクローンです。ということは同じ環境条件の下では一斉に咲き、一斉に花を散らします。このため桜の開花宣言の標準木に利用されていますが、特定の病気に掛かりやすく環境変化に弱いとも言われています。その上、花見客も、クローンではありませんが、同じ時期に同じ場所に一斉に押し寄せ、花見の宴も同じようなパターンになり、多くの桜の名所は大混雑します。

このソメイヨシノが普及する明治時代以前は、サクラと言えば自生種の「山桜」のことでした。「山桜」はクローンではなく、種子で増殖しますので、一本一本遺伝子が微妙に異なり、木によって花の色・形・匂い・開花時期などが違います。サクラという種にも多様性があるのです。ちなみに日本の国花は「さくら」ですがこれはソメイヨシノではなく「山桜」です。

そこで今年も、「山桜」を見に行きました。自宅から車で90分ほどのところに櫻川磯部稲村神社という古い神社があります。約1,900年前から続く神社で、平安時代には「西の吉野、東の櫻川」と並び称される桜の名所だったということです。平安時代には紀貫之が歌に詠み、その歌碑が残っています。その他の有名人の歌も残っていますので有名な歌枕の里だったのでしょう。室町時代の幽玄能の大家である世阿弥が作った謡曲「櫻川」の舞台にもなっています。現在はその境内は国指定の「名勝櫻川」となっており天然記念物の「櫻川のサクラ」があります。そして山桜、枝垂れ桜など11種類もの桜の自生種が花を咲かせています。宮司さんのお考えで、ここは観光地化をせずに天然記念物の自生種の桜を本当に愛でてくれる人にもみ公開しています。従って駐車場は10台程度と狭く、常設の売店などはありません。

今年も、鎮花祭に合わせて参拝しました(写真)。鎮花祭は春季例大祭で、サクラの花が開花し農作業が始まる季節に「五穀豊穰」と「家内安全」を祈り、併せてこのころは天候不順で体調を崩しやす



いことから祭神の木花佐久耶姫命(このはなさくやひめのみこと)に、「身体安全」、「無病息災」をお祈りするお祭です。社殿に向かって、神職らが祝詞(のりと)を奏上し、巫女(みこ)が神楽舞と浦安の舞を奉奏します。鄙(ひな)びており、鎮花祭で有名な奈良

の水谷神社には及びもつかないでしょうが、大変良いムードでした。

賑やかなソメイヨシノの下でそれにも負けないほどの賑やかな「花見」の宴も良いですが、万葉・平安の昔から歌に詠まれてきた歴史や生活に密着した情緒を「山桜」から感じとってみる「観桜」もなかなか素敵でした。

さて、ニッサンメールマガジン第 101 号をお届けします。

### **食料自給力指標**

食料・農業・農村基本法に基づく、新たな「食料・農業・農村基本計画」が 3 月 31 日に閣議決定されました。この「基本計画」では、10 年後の食料自給率をカロリーベースでは現状の 39%から 45%に、金額ベースでは現状 65%から 73%に引き上げる目標を設定しています。

もう一つの特徴は「食料自給力」という指標が使われていることです。現在の農業従事者数、生産技術で、今ある農地をフル活用した場合に生産できる食料の量を熱量(カロリー)で示してものです。言い換えれば、わが国の潜在的な食料供給能力を表す指標です。

この指標は数年前から農業白書には登場しています。また文字が少し違いますが 1976 年に全農林が中心となって「食糧自給力の技術的展望」という本を出版しています。しかし、これまでこの指標についての評価も議論も見当たりません。当然国民にはなじみの薄い指標です。今回農政の指針となる計画に初めて位置づけられました。

いくつかの試算が示されていますが、いずれも作物(米・麦・さつまいもなど)の作付け体系を変化させたものです。例えば北海道の根釧や天北などの作物の栽培不適地帯でも作物を栽培せよということなのでしょう。このような地帯は全国にたくさんあり、そこは畜産農家が牧草などを栽培し、大家畜を利用して、エネルギーだけではなく、良質蛋白質も生産しています。都市近郊ではいわゆるエコフィードを利用した養豚等も盛んです。

この指標を農林水産省が本気で農政推進に用いるのであれば、現状をもっと見据えた議論を尽くし、試算(シミュレーション)を行い、透明性の高い評価体制を構築してほしいと思います。大変未熟な指標という印象です。

### **2015年度のカレントアクセス(CA)輸入**

農林水産省畜産部牛乳乳製品課は 1 月 23 日、15 年度 CA(生乳換算で 13 万 7 千 t)のうち、バターを 2,800t(同 3 万 5 千 t)、脱脂粉乳を 1 万 t(同 6 万 千 t)として、15 年度中に実施する方針を発表しました。この追加輸入の判断時期を 5 月および 9 月と初めて明示し、特に年末の最需要期に向けて追加輸入を行う場合は引き渡し期限を 10 月末(14 年度対応では 11 月末)と、従来に比べ約 1 か月早いタイミングに設定する考えを示しています。併せて、輸入バターの形状について、従来のバラバターに加え、試行的に洋菓子店などで直接利用できる 1~5kg の小口バターも輸入対象に追加し、14 年末に一部で強い批判も出た国の輸入対応と国産バター供給の連携をより円滑化させる新方針も示しました。

### **カナダアルバータ州で B S E が発生**

カナダ食品検査庁(Canadian Food Inspection Agency : CIFA)は 2015 年 2 月 13 日、国際獣疫事務局(OIE)へ、アルバータ州で飼育されていた肉牛が B S E (牛海綿状脳症)に感染した

ことを確認したと報告しました。同国での感染例は 2011 年以來です。カナダは OIE から「BSE が管理されたリスクの国」とされています。

同庁のウェブサイトによれば、同国の監視プログラムで感染が見つかったが、いずれの部位も食用ないし飼料用として流通していないとしています。

同庁は「この牛の年齢や成育履歴、感染経路の確認に努めている」とした上で、「今回の事案でカナダ産畜牛や牛肉の輸出に影響は生じないだろう」と指摘しています。

### 家畜疾病図鑑Web

[http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease\\_dictionary/index.html](http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_dictionary/index.html)

本サイトは 2010 年 4 月の口蹄疫発生を契機に家畜の伝染病への関心が高まったことから、畜産農家や関係者の方々に病気について知っていただくため、動物衛生研究所(動衛研)の研究員が執筆して動衛研のホームページ上に公開したものです。毎月新しい記事が追加されています。2015 年 2 月時点で掲載されていた疾病は全部で 46 疾病ですが、その後 2015 年 4 月 26 日現在、豚流行性下痢(PED)等の 3 疾病が追加されています。

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザの発生を踏まえ、2011 年に「家畜伝染病予防法」が改正されました。これに基づいて「飼養衛生管理基準」が大きく見直され、日常的な衛生対策の強化が求められています。家畜疾病には、水際検疫により海外からの侵入を防いでいるものや、「家畜伝染病予防法」で指定されていないが、生産性に大きな影響を与えるものもあります。疾病と飼養衛生管理について正しく知ることは、家畜疾病対策に非常に重要です。最近ではインターネットや通信機器が普及し、ネット検索して多くの情報を収集することができますが、このような状況であるからこそ信用できるサイトから正しい情報を得ることが大切です。

本サイトは、無料で閲覧できます。今後も新記事が追加されますので、時々チェックしておくことをお勧めします。

### 畜産草地研究所の2015一般公開を会場を変更して開催

例年恒例となっている文部科学省科学技術週間のつばの農林研究団地の研究所一般公開(2015 年 4 月 17 日～18 日)にチョットした変化がありました。農業・食品産業技術総合研究機構畜産草地研究所は今年も一般公開に参加し、「畜産アゴラ with You -畜産研究紹介の広場-」と題した展示や一般公演を企画していたのですが、会場が変更になったのです。従来は畜産草地研究所の大会議室を開放して展示や講演を行っていましたが、今年は農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波事務所 1 階 会議室になっていました。

科学技術週間の研究機関一般公開は、青少年に科学や産業への興味を持ってもらうきっかけに、また地域住人(主に消費者)との交流の機会として、最新の研究成果を紹介するものです。同時に研究所を知っていただくという意味もあります。にもかかわらず、研究所内を公開しなかったこと、近年家畜防疫もきびしくなりつつある状況に従い、家畜を伝染病から守るための措置であるということです。

防疫体制がしっかりしていると思われる研究所でもこれだけ嚴重になりました。畜産農家の皆さんも、外来の人を畜舎に近づけないように気を配っておられると思います。全国的に日常的な衛生対策の強化が求められています。

## ニッサン情報 第89号の概要およびURL

セレンは抗酸化物質の一つで酵素の必須成分として過酸化水素や過酸化脂質を分解する働きがあります。またセレンは免疫機能にも関与しています。

飼料側から見ると粗飼料，穀類を問わず飼料中のセレン含量は生産された土壌のセレン含量を反映します。我が国では特に北海道がセレン欠乏地帯です。国産飼料のセレン含量を調査した結果によると，粗飼料の大半はセレン含量 0.05ppm 以下でした。一方、動物側から見ると、日本飼養標準乳牛(2006)ではセレンの推奨要求量が 0.1ppm(米国 0.3 ppm)となっていますので，国産飼料の利用拡大を図る上でもセレンが不足している事には注意すべきです。セレンを牛に給与すると，血液，初乳，胎盤，子牛の血液などのセレン濃度が簡単に上がります。これはセレンの給与効果が出やすい反面、生体がセレンに関して恒常性維持機能を持っていないことですので，過剰投与による中毒にも気を付けなければなりません。中毒発症限界は 2ppm です。

さらに，セレンの推奨要求量が，生育や乳生産ステージに関わらず一律の濃度基準で示されていますので摂取されるセレンの量は乾物摂取量(DMI)に依存しています。乳牛用飼料中のセレン含量が低いことを考えると，わが国の乳用牛は慢性的にセレン欠乏状態にある恐れがあります。特に要求量の多い分娩前後にはセレンが充分量に摂取できていない、欠乏状態にあると予想されます。

そこで、主にセレン欠乏の乳用牛のリスクとその対応について、「ニッサン情報」第 89 号にまとめてみました。

「ニッサン情報」は、当社のウェブサイトのトップページにある「技術情報」をクリックし、「ニッサン情報」のページに入るとご覧になれます。ぜひご利用ください。

---

### お知らせ メールマガジンへの登録、お問い合わせ等

---

メールマガジンの配信も当社のウェブサイトから登録できます。

このメールマガジンへのお問い合わせ、ご意見・ご要望等、並びに技術的な問題等がございましたら、当社のウェブサイトのトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

---

### お知らせ アドレス変更をお忘れなく

---

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を当社のウェブサイトのトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しております。

また、今後の配信が不要な場合にも当社のウェブサイトのトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。

よろしく申し上げます。